

アレルギー性結膜炎(花粉症)

アレルギー性結膜炎の患者さんは年々増加していて、その主な原因は花粉といわれています。その代表的なものとしては春のスギ・ヒノキ、春から夏にかけてのイネ科、秋のキク科植物などがあります。花粉以外の原因にはダニ・ほこり・カビ・ペットの毛などがあります。主症状は目のかゆみや流涙・目やに・充血であり、ひどくなると結膜や角膜が傷つき目のかすみや痛みがでたりします。

花粉症対策としては花粉に触れないことが第一です。外出時はメガネ、マスク、帽子を着用する・帰宅時には衣類に付いた花粉を払い落とす・帰宅後は手洗い、うがい、防腐剤フリー点眼薬で洗眼する・コンタクトレンズの使用は控える・なるべく洗濯物や布団は外に干さない・空気清浄機を使用することなどがあげられます。

アレルギー性結膜炎の治療としてはアレルギー反応を抑える抗アレルギー点眼薬が使用されますが、花粉が飛散する2週間ほど前から点眼を開始すると、症状がでる期間を短くし症状を軽くすることができるといわれています。症状が強い時にはステロイドや免疫抑制剤の点眼薬を併用しますが副作用もありますので医師に相談してください。

令和6年3月
高田 明子